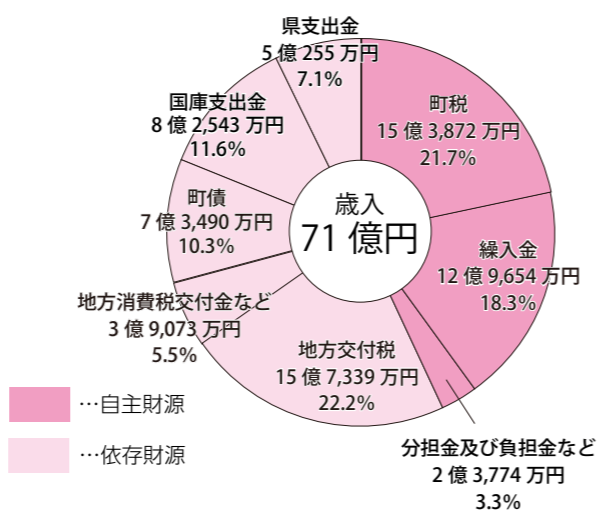
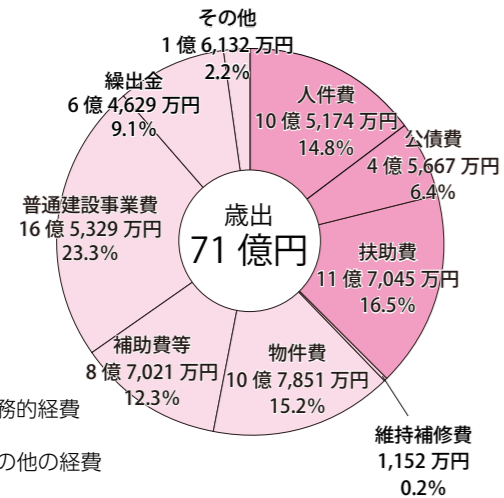


令和4年度当初予算（一般会計）

歳出…健康福祉センター建設事業、第二小学校整備事業等により、普通建設事業費が前年度比8億4,158万円の増、認定こども園の整備に伴う施設型給付費（運営費）等により、扶助費が前年度比1億699万円の増となっています。

歳入…固定資産税において、新型コロナウイルス感染症に係る特例措置の廃止により、町税（地方税）が前年度比6.7%の増、健康福祉センター建設事業の財源として基金等からの繰り入れを行うため、繰入金が前年度比70.7%の増となっています。



歳出（目的別）

Table with 4 columns: 区分, 本年度, 前年度, 比較. Lists 13 categories of expenditures.

各会計当初予算総括表

Table with 4 columns: 会計区分, 本年度, 前年度, 比較. Summarizes budget for various accounting categories.

用語の説明

歳入：地方公共団体の一会計年度における一切の収入のこと
町税：皆さんや法人が町に納めるお金
繰入金：各種基金の取り崩しや特別会計などから繰り入れられるお金
地方交付税：自治体の財政力に応じて国から交付されるお金
町債：国や銀行などからの借入金
歳出：地方公共団体の一会計年度における一切の支出のこと
公債費：事業を行うために借りたお金（町債）の元金・利子や一時借入金の利子を支払うお金
普通建設事業費：道路、学校などの建設・整備に使われるお金
繰出金：各種基金や特別会計などへ繰り出されるお金
維持補修費：町が管理する公共施設などの維持に使われるお金
扶助費：社会保障制度の一環として、子どもや高齢者などに対して使われるお金



当初予算

令和4年度各会計当初予算は、3月3日(木)から15日(火)まで開催された3月町議会定例会で可決され、成立しました。一般会計当初予算は71億円で、前年度比8億円、12.7%の増となりました。今月号では、一般会計を中心に紹介します。

予算編成の方針

本町の持続的な発展のため、これまでに取り組んできた各種事業を可能な限り進めていくこととし、新型コロナウイルス感染症対策事業では、地域経済の活性化を図るため「プレミアム付商品券発行事業」、子育て支援関係事業では「健康福祉センターの建設事業」、魅力づくり事業では「駅東口整備事業」、災害に強いまちづくり事業では、国の遊水地事業「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」に対する事業



編成方針を述べる速藤町長

推進に努めます。また「第二小学校整備事業」、浄水場を整備する「第五水道拡張事業」にも取り組んでいきます。鏡石町第6次総合計画の初年度となる今年度は、町制施行60周年の節目の年でもあることから、記念事業などを通してまちづくりの歴史を振り返りながら、さらなる町の発展を目指していきます。

第6次総合計画に基づく行政分野施策

I 子育て・健康・福祉分野

「すべての町民が健やかに暮らせるまちづくり」

- 子育て環境の充実
●思いやりと支え合う福祉のまちづくり
●健康長寿のまちづくり
●持続性のある社会保障制度の構築

II 教育・文化・スポーツ分野

「未来を拓き、次代を担う人づくり」

- 次世代を担う人づくりと生涯学習の推進
●地域文化の継承と保全
●スポーツによるまちづくり

III 協働・コミュニティ分野

「助け合いの心でつなぐ地域づくり」

- 町民の多様な活動の推進
●思いやる協力のコミュニティづくり
●安心して暮らせる地域社会づくり

IV 産業・観光分野

「にぎわいと魅力にあふれるまちづくり」

- 産業振興の維持、充実
●魅力資源の活用と活力みなぎるにぎわいのまちづくり

V 都市環境・地域防災・生活居住分野

「安全安心で快適な環境が整うまちづくり」

- 快適な生活空間の創造
●移住・定住のまちづくり
●安全で便利な交通環境の形成
●安全で安定した水の供給
●豊かな自然環境と共生するまちづくり
●災害に強いまちづくり

VI 行財政・広域連携分野

「まちづくりを支える持続可能な行政経営」

- 新時代の行財政運営
●広域連携の強化

重点事業（小項目で新規事業のみ掲載）

- ◆新型コロナウイルス感染症対策事業 5,290万円
◆子育て支援関係事業 10億7,599万円
◆魅力づくり事業（進化する鏡石実行プロジェクト） 2億4,481万円
●障がい者地域活動支援センター事業 200万円
●地域支援事業（任意事業） 200万円
●儲かる農業 30万円
●県宮高久田地区経営体育成基盤整備事業 2,958万円
●地域産業6次化推進事業 300万円
●緊急浸漕推進事業 480万円
●かがみいしファンクラブ事業 100万円
●都市再生整備計画事業 650万円
●東京かがみいし会事業 46万円
●畜犬マイクロチップ装着義務化対応事業 10万円
●墓地整備事業 13万円
●粗大ごみ戸別収集事業 250万円
●軽自動車税電子化事業 93万円
●DX推進事業 374万円
●こおりやま広域圏連携事業（航空写真合同撮影及び写真地図作成業務） 224万円
●共通納税システム税目拡大及びQRコード導入事業 290万円
●証明書コンビニ等交付事業 4,459万円
●マイナンバーカード交付円滑化事業 1,500万円
◆災害に強いまちづくり事業 1,709万円
●成田地区水害対策事業 214万円
●成田地区遊水地事業（農業集落排水事業） 400万円
●成田地区遊水地事業（上水道事業） 495万円
●県中防災訓練実施事業 273万円
●防災まちづくり事業 328万円
◆町制施行60周年記念事業 3,319万円
●町制施行60周年記念式典事業 981万円
●町制施行60周年記念イベント 150万円
◆原子力災害対策関連事業 2,433万円